

職員による自己評価

A環境面

- 環境・体制整備に関し、「はい」と「どちらともいえない」の答えがあった。また、「無記入」の答えもあった。その中、どの質問も「どちらともいえない」との答えが半数以上であった。

B児童への支援内容

- 【個別支援計画】、【記録】、【検証・改善】に関する質問内容は適切にできているかという問いに対し「無記入」もありながらも「はい」が若干数多かった。
- その他の質問内容は「無記入」及び、「どちらともいえない」という答えが半数以上であった。

C関係機関との連携

- 関係機関に関する質問に対し、ほぼ「無記入」及び、「どちらともいえない」の答えであった。

D保護者への説明責任・信頼関係

- 【保護者の状況を伝えあい子どもの発達の課題について共通理解ができている】、【個人情報の厳守】、【情報伝達】に関する質問は、ほぼ「はい」との答えであった。
- その他の質問内容は「無記入」、「どちらともいえない」との答えであった。

E非常対応

【非常対応マニュアル等】、【虐待防止】に関する質問に対しては「はい」との答えが多かった。

【アレルギーの対応】、【ヒヤリハットの共有】は、「はい」と「どちらともいえない」との意見で分かれていた。

保護者による評価

A環境面

- 活動スペースに関しては、十分確保されているとのご意見が多かったが、専門性、バリアフリー化に関しては「どちらともいえない」、「いいえ」との若干数、ご意見があった。

B児童への支援内容

- 【支援内容】、【児童の発達状況、課題についての共通理解】、【保護者に対しての面談、助言等の支援】【個人情報】について概ね十分な丁寧で、配慮などができているとのご意見が多かったが、【保護者同士の連携に関する支援】【苦情についての体制・整備】に関しては、質問内容によって、「どちらともいえない」とのご意見が半数ほどあった。

C事業所からの情報発信

- 【情報伝達】【事業所の行事、自己評価の結果の発信】に関する質問内容は、多くのご意見としては十分にできているとの意見でしたが、1/4ほど「どちらともいえない」とのご意見もあった。

D非常対応

- 【緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル】、【非常災害時の定期的な避難訓練など】の質問内容に関しては、「どちらともいえない」とのご意見が1/4ほどあった。その他のご意見としては十分にできているとの事であった。

事業所内での分析

【共通点】

- 個別支援計画及び、支援内容に関しては丁寧に行っている点
- 保護者との面談、助言に関する点では丁寧に行っている点
- バリアフリー化に関しては、「どちらともいえない」との意見

【相違点】

- 保護者への情報伝達について
- 非常対応マニュアルについての周知の点

## 分析・検討してみたて…

### 事業所の強み

- 個人のニーズに合わせた支援計画が策定できている点。
- 発達段階に対しての面談、助言に関してはできている点

### 事業所の改善点

- 職員からのアンケートでは無記入及び、「どちらともいえない」との意見が多くあり、事業所に関する事の理解が薄い点がある。また、保護者による評価としても若干数、日々の様子が分からないとのご意見がある。その点より職員がどのようなサービスを求められているのか理解度が低い点が分析できる。その為、人材育成が改善点である
- 非常時対応については保護者への周知が行き届いていない状況

### 事業所の改善への取り組み

- 一人一人の職員が障害理解、事業に関する理解、個別支援計画に合わせた支援、日々の状態の情報伝達など、必要な業務の理解できていない。その為、保護者への伝達や実際の支援に移せていない事が分析できる。その為、職員の資質向上をする上で、児童の個別ケース、業務改善を定例会議、日々のミーティング時に管理者が中心に伝えていく。その後、検証ができる会議機会も作る。
- 毎年1回、保護者向けに非常対応マニュアルに関するお知らせを配布していく。HPにて掲載していく。

事業所名 放課後等デイサービス en 東戸塚

担当者 管理者 中原 裕介